



21 あらかじめ征服しよう

けつようび

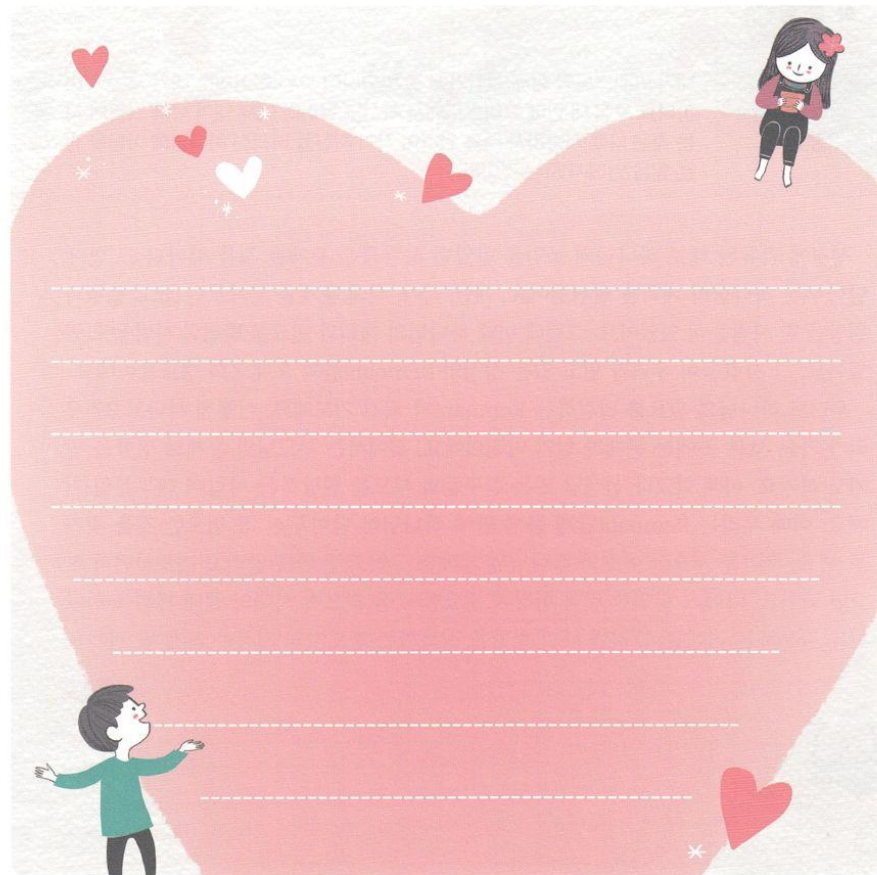
詩篇 18章1節
彼はこう言った。主、わが力。私は、あなたを慕います。

レムナントのダビデは、イスラエルの最初の王サウルがサタンにつかれて苦しんでいるのを見ました。その当時のダビデは羊飼いに過ぎなかったのですが、王の苦しみを解決することができる霊的な力と技能がありました。その後、サウル王の軍隊に追われるようになってからも、ダビデの心と考えは揺れませんでした。彼には他の聖書のレムナントと同じ、神様が与えてくださった霊的な力がありました。さらに、世の中で成功をおさめても解決できない問題に対する答えも持っていました。それゆえ、まことの福音エリート祝福を十分に体験しました。

今日、ダビデと聖書のレムナントのように、力の神様から、霊的な力いつも豊かに受ける伝道者として備えましょう。だれにも話すことのできない苦しみを持つ人々を助けるまことの福音エリートになるでしょう。その日を待って、今日も神様に集中するあらかじめ征服の時間をのがさないようにしましょう。



ここに力を受ける聖書のみことばはありますか。
私力が力を受ける、そのみことばを書いてみましょう。
全世界237か国のためのまことの福音エリートとしての小さな実践になるでしょう。



Blank lined area for writing the Bible verse.



神様、ありがとうございます。毎日、あらかじめ征服する時間を持って、エリートを生かすまことの福音エリートとして準備することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



Grid area for writing the evangelist's name.

あ ひと
会う人

Blank lined area for writing the evangelist's name.

じゅんび じりょう
準備する資料



22

かようび

伝道者の征服をはじめよう

ガラテヤ 2章 20節

わたしはキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。

聖書に記録されているとおり、神様に用いられた人々は、問題に直面するたびに、その中に隠された神様の計画を発見しました。個人、国、時代の問題を問題としてだけ見て、不平不満を言って恨みを募らせた人々がいました。ところが、そのとき、神様の計画と必要を発見した人々もいました。その人々こそ私たちが知っている聖書のレムナントと初代教会の信徒です。

私たちも神様の必要を発見するレムナントになるよう祈りましょう。どのようにしたら良いのでしょうか。私たちが行くすべての所には当然問題があるものです。家では親の問題の影響を受けて、親を恨む人が多いでしょう。学校での問題は、先生や友だちのせいだと恨みます。そのように、大部分の人は、いろいろな人を恨みます。このようなとき、私たちはレムナントらしく、問題の中に神様が隠しておかれた、本当に必要なことを見つけましょう。私たちを造られた主なる神様に知恵と恵みを求めて祈りながら見つければ良いのです。私に当然のことで、現場に必要なことを見つけて、時代の絶対計画を神様に質問しましょう。そうすれば、私の現場を征服する伝道者の始まりになるでしょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



神様、ありがとうございます。問題のために時間を費やすことなく、神様の計画を見つけるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

まことの伝道者は見る目が異なります。いま伝道者としてはじめようとしている私にある問題を霊的な目で見て、神様にゆだねる祈りの絵日記を書きましょう。



Large grid for drawing a picture diary.



きょうのでんどう

会う人

Grid for listing people met during the day.

準備する資料

Blank lines for listing preparation materials.

あらの ほんだいかいけつ
荒野ですべての問題解決

民数記
19章 1～10節

主はモーセとアロンに告げて仰せられた。「主が命じて仰せられたおしえの定めは、こうである。イスラエル人に言い、傷がなく、まだくびきの置かれたことのない、完全な赤い雌牛をあなたのところに引いて来させよ。あなたがたはそれを祭司 エルアザルに渡せ。彼はそれを宿営の外に引き出し、彼の前でほふれ。(1～3)

出エジプトしたイスラエルの民は、すぐにカナンの地に着くと思っていました。一週間で到着できる距離にカナンの地はあったのですが、出エジプトをして、カデシュ・バルネアで38年も留まってなお、カナンの地に入ることができませんでした。なぜなのでしょう。

神様は、イスラエルの民の体質が変わることを待っておられました。それゆえ、エジプトの地からどのように出たのかをいつも覚えるようにと言われました。神様は彼らに過越の小羊の血を塗った日を記憶しなさいと言われました。また、荒野で生まれて過越を体験していない人が過越祭を覚えるようにされました。子孫にこの事実を伝達するためにでした。荒野では、更新も必要でした。エジプトで暮らしていた体質と習慣のために、奴隷のような生き方をしているとカナンを征服できないからです。それは、新しい地で新しい福音文化を作って、エジプトで学んだことをベースに生きないようにするためでした。このように、神様は荒野で人が解決できないすべての問題を解決してくださいました。このことを記憶して、今日、私がいる荒野で勝利するレムナントになりました。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。私も過越祭にある神様の救いの計画を覚え、きょうの荒野の道で勝利することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

ちがいを
みつけよう

あらの かみさま ちから うたが たみ
荒野で神様の力を疑うイスラエルの民のために、神様は民の前に
せいどう へび お みる もの い
青銅の蛇を置かれ、それを見る者は生きると言われました。
2つの絵のちがいをみつけながら、過越祭にある、神様の救いの計画を
もくそつ
黙想しましょう。



きょうのでんどう

あ ひと
会う人

じゆんび しいりやう
準備する資料



いわでみす 岩から出た水

もくようび

民数記
20章 1～9節

「杖を取れ。あなたとあなたの兄弟アロンは、会衆を集めよ。あなたがたが彼らの目の前で岩に命じれば、岩は水を出す。あなたは、彼らのために岩から水を出し、会衆とその家畜に飲ませよ。」そこでモーセは、主が彼に命じられたとおりに、主の前から杖を取った。(8～9)

出エジプトしたイスラエルの民は、困難があるたびにモーセを訪ねて行って、泣き叫んでエジプトから連れ出したことを恨み、ときには殺すと脅迫しました。彼らは、何も許されなかったエジプトの奴隷時代も、パロ王の下からどのように出てきて、荒野の自由を味わうようになったのかも、すべて完全に忘れたのです。今も同じです。不信仰の人々は、サタンの奴隷という身分から解放されたのですが、小さな問題や事件があれば、24時間不信仰になって恨みます。このようなイスラエルの民に神様は岩から水を出して神様の力を現わされました。

レムナントである私たちは、不信仰の24時を捨てて、24時みことば黙想に挑戦しましょう。神様のみことばには一つも間違いがありません。これが神様のみことばを黙想すれば、間違った考えの場に答えが生まれる理由です。また、24時祈りに挑戦しましょう。心に文句とねたみがいっぱいならば、私自身が大変です。しかし、24時祈りをする事ができるなら、神様から来る幸せが心をいっぱい満たして世の中に勝つ力に変わります。今日、神様がくださるまことの力を見つける挑戦を始めましょう。

きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。文句とねたみに囚われて、さまようことなく、両親や友だちとの間で幸せを伝える伝道者になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



なやんで
います

今月の悩みをわかちあいましょう。



パク・ウヨン 牧師夫人
わたし、なやんでいます

友だちがいつも私にイライラをぶつけてきます。特別な理由があるように見えないのですが、どうしてなのでしょう。

それは、とても傷つきますね。人がイライラする理由にはいろいろありますが、最も大きな要因は、もともと持っている霊的部分にあります。自分の心にはいやな思いがいっぱいなので、ちょっと触れただけでイライラがあふれてしまうのです。その友だちは、相手が誰であってもイライラをぶつけているのでしょうか。水がみなみと注がれたコップは、指が少し触れただけで水があふれてしまうのと同じ原理です。

ほかに、信頼している相手に自分の心を認めてほしいと願う気持ちの裏返しとして自分を表現するネガティブな手法のひとつも見ることができます。関心を持ってほしい、気をひきたいという思いの裏返しである場合もあります。

理由がどうであれ、イライラをぶつける友だちの心に幸せはありません。ですから、福音を聞かせてあげるべきです。もし、福音を知っている友だちなのに、イライラをぶつけて来るのなら、祈りの奥義の中にある幸せな奥義を伝える機会になるでしょう。

私たちの、祈りの力を持って、イライラする友だちを助ける答えの中に入りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Blank grid area for writing the evangelist's name.

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

インマヌエル

イザヤ 7章14節
それゆえ、主みずから、あなたがたに一つのしるしを与えられる。見よ。処女がみごもっている。そして男の子を産み、その名を『インマヌエル』と名づける。

イエス様は、人々を救うためにこの地に来られました。そして、来られたことを記念するために12月25日をクリスマスとして祝います。あちこちにツリーをたてて盛大に記念行事をすることもあります。この世はその日の意味を知らないまま、派手な装飾をして楽しく過ごします。ところが、本当に重要なのはクリスマスのまことの意味を知ることです。レムナントがクリスマスの意味を発見できなくて、クリスマスの意味を覚えることができないならば、この世の人々と変わりません。

イエス様がこの地に来られた最も大きな意味はインマヌエルです。神様が私たちとともにおられるために、サタンの権威を打ちこわす計画をたてられました。その計画が成就して、イエス様がこの地に来られました。イエス様が十字架にかかって死なれたとき、サタンの権威は完全に打ちこわされ、神様に祈って礼拝できる道が開かれました。また、イエス様を受け入れる人には、すべてののろい、わざわいが完全に終わりました。この事実を正確に知って黙想するレムナントになりましょう。すると、どんなこと、問題、事件の前でも、キリストで答えを出すことができます。今日から始めましょう。

きょうのみことば

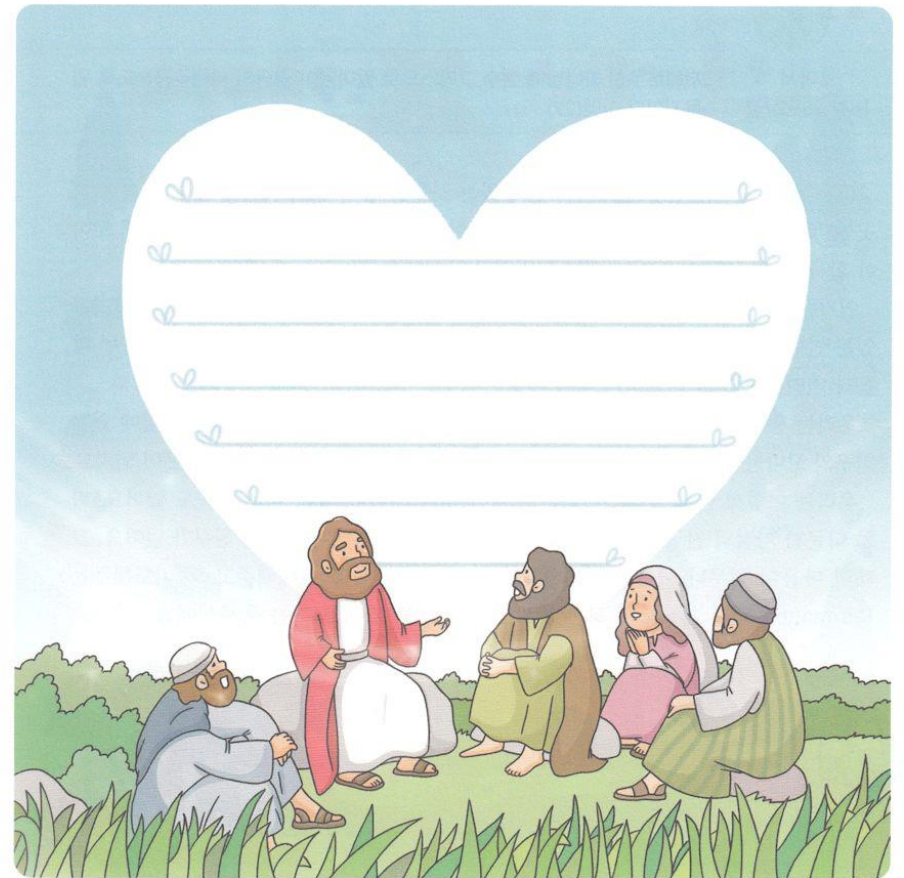
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。クリスマスのまことの意味を知って、イエス様が来られて私たちにくださった権威を味わうレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを適用しよう

イエス様は、苦しみを受けて死ぬために人となってこの地に来られた神様ご自身です。三位一体の神様が救いの計画を完成されました。そのことを感謝して、神様に祈る手紙を書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりょう
準備する資料

レムナントの24

ローマ
16章 25~27節

知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。(27)

多くの方は、人が多く集まって人気があることを好みます。人が多く集まれば、そこに何かあると思っ、もっと多くの方が集まります。ところが、レムナントが見なければならぬことは別にあります。それは、空いたところ、捨てられたところです。人気がある人であるほど、その人の心は何となくさびしくて孤独です。それゆえ、人気のある芸能人や政治家たちをうらやましく思わなくても良いのです。彼らの人気の影にひっそりと隠された彼らの空いた心と捨てられたたましいを思っ、祈らなければなりません。

私たちはときに、私のためにすべてをしてくれる両親の大切さや、いつも私のそばにいてくれる友だちのありがたさに気づけない時が多いです。そこも、状況によって、福音が必要な空いたところになります。

私たちは、このように空いたところを見ることが出来るレムナントになりましょう。捨てられたところもあります。それは、多文化家庭の友だち(TCK)です。その人々は、本当に重要な話をするので出来る友だちがいせん。それゆえ、その心はとても孤独で何となくさびしいのです。このような友人を理解してあげて、また祈るレムナントになるように祈りましょう。それこそレムナントが持つ24という祝福です。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。福音の必要な空いたところ、捨てられたところを見ることが出来るレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



めいろ

空いた心、捨てられたたましいを埋めることができず、さまよっている友だちがいます。迷路を通して友だちを助けて、神様に会う救いの道へ案内しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんぶ
準備する資料
